いいとこ、知っとこおうしゅう

地区センター単位で
各地区を紹介します

南都田地区

拠点　南都田地区センター
（胆沢南都田字塚田126-8
☎46-2213、FAX41-4008）

ホームページ　http://park10.wakwak.com/~natsuta/

南都田地区は、東は水沢、北は金ケ崎に接し、国道３９７号が東西を走るなだらかな地形の田園地帯です。人口は約４２４０人で、世帯は約１４００世帯。10の行政区、23の集落で構成されています。

国指定史跡「角塚古墳」は、約１６００年前の豪族の墓地といわれ、「農民を苦しめていた大蛇を『さよ姫』がお経の力で退治し、その大蛇の角を埋めた」という伝説もあり、地区内にはさよ姫伝説ゆかりの場所も多くあります。

南都田地区振興会は、平成20年に発足し、全世帯対象アンケートと若い世代へのアンケート結果を基に、コミュニティ計画を策定。「情熱と誇りをもち心ふれあう古墳の郷なつた」をスローガンに、地域振興部・生活福祉部・教育文化部・生涯学習部の４部会で事業を実施しています。

30年度には10周年を記念して、角塚古墳をモチーフにしたシンボルマークを住民応募の中から決定。マークを活用することで活動をさらに盛り上げています。

今年４月、念願だった地区センターが建て替えられ、新たなスタートを切っています。南都田学園敷地内に移転したことにより、幼稚園・小学校との連携をさらに深めた地域づくりを展開していきます。

角塚古墳周辺の環境整備

平成22年度から、毎年幅広い年代の住民が集まり花植えを行っています。28年度は、国体応援花壇として国体を盛り上げ、春と秋にはライトアップやのぼり旗を設置し、角塚古墳のＰＲに取り組んでいます。

放課後子ども教室

年に20回ほど開く「杉の子広場」は、毎年延べ1,500人以上の児童が参加しています。異学年交流や高齢者との交流が少なくなっている現代の子どもたちにとって、貴重な遊びの場となっています。

南都田の方言かるた

平成26年度に作成したこのかるたは、講座生が読み札の内容を編集し、故･細川光司さんに絵を描いてもらいました。その後音声ＣＤ作成や「かるた大会」開催など、楽しみながら方言に触れる場を創出しています。

七福神舞・横笛音楽隊

平成８年ごろから小学校の児童が継承している「七福神舞」は、南都田の伝承芸能として定着しています。26年度から「横笛音楽隊」が七福神舞のお囃子に加わり、祭りや発表をさらに盛り上げています。

手作り布マスクで助け合い

新型コロナウイルス感染防止のため「今できることを！」と急きょ企画。地区住民35人のボランティアが布マスクを作成し、地区内の園児と児童･教職員に310枚、住民向けに470枚を提供しました。

センター引っ越し・開所式

今年３月、延べ88人の地区住民ボランティアの協力で、備品などの運搬作業を行いました。４月４日には開所式、４日･５日は一般見学会を開催し、約360人が施設見学に来場。新センターが始動しました。

まなびの里

水沢中学校

生徒数　466人
所在地　奥州市水沢字南丑沢10番地１　☎24-4651
http://school.city.oshu.iwate.jp/mizusawa-j/

水沢中学校は、水沢の北西部に位置しており、市中心部の官庁街や商店街から、純農村部の水田地帯まで広い範囲で学区を形成しています。学区内には水沢小学校と佐倉河小学校があり、全員が本校に入学します。

校訓「自主」「責任」「協力」の下、あいさつと学び合いを宝とする生徒・職員であることを誇りとしており、さらに良い学校を目指して学校教育目標を「進んで学び生活規則を守る生徒」「自分の行動に責任持つ生徒」「協力を惜しまず助け合う生徒」と定めています。

昨年度の部活動では、走り幅跳びで東北大会優勝を果たし、ほかの種目でも東北・県内で華々しい活躍を見せる陸上競技部をはじめ、新人大会では卓球部男女、柔道部男子が地区優勝を果たし県大会出場。また女子バスケットボール部も県大会ベスト８に進出する活躍ぶりです。文化部および特設部も地区・県内で多数入賞するなど目覚ましい活躍を見せています。

学校通信ここ

水中しゃべり場

本校では、生徒総会や全校集会において、テーマに沿って一人一人が意見を持ち、その意見を交流し合う時間を「水中しゃべり場」として取り組んでいます。これを行うことによって、全校生徒がお互いの考えを理解し、高め合いながら生徒会活動に取り組めるようにしています。

しゃべり場の様子

昨年度は生徒総会において、「情報モラルに関する意識を高めるためには」などのテーマのもと、積極的に意見交流がなされ、生徒たちは自らの考えを広げ、深めることができました。

水中二大行事

二大行事の一つ運動会は、昨年から大きく変わりました。全学年は五色（赤・青・黄・緑・橙（だいだい））の組団に分かれ、競技の部での優勝、応援の部での最優秀賞を目標にして、各組団が３年生を中心に練習に取り組み、当日は激しく競い合います。一番の目玉は昼の応援合戦です。各組団が伝統応援とその年のオリジナル応援を発表し、声量、まとまり、工夫について評価されます。各組団がライバルになって競いますが、閉会式後は全校で運動会の成功を喜び合います。

各組団のぼり

組団長の選手宣誓

二つ目は文化祭です。水中文化祭は、合唱コンクールや全校合唱、英語暗唱、文化部の活動・展示発表や教科作品の教室展示などがあります。中でも合唱は水中の宝であり、常に高い意識を持って取り組んでいます。「より良い合唱にしよう」「聞いている方々を感動させよう」と、全員が力を入れて練習に取り組みます。合唱コンクールで心を一つに、美しいハーモニーを響かせられるように、一回一回の練習を大切にしています。今年も全校が一つになって、すてきな文化祭を創り上げます。

吹奏楽部の演奏

全校が一つとなり、合唱で感動を届けます